

コラム 2 林業大学校等との連携による人材育成

森林・林業分野においては、森林経営管理制度への対応を始め森林・林業行政に携わる人材の育成や林業従事者の確保が課題となっており、就業前の若手林業者の教育・研修機関として林業大学校等については10年前の平成23年度には6校だったところ、令和3年度までの間に21校に増加しました。

国有林野には、森林・林業分野に関する知識と林業を実践できるフィールドがあることから、各地の森林管理局や森林管理署等において、林業大学校等との連携協定を結び、国有林野事業の人的資源を活用した講師の派遣や国有林野のフィールドを活用した技術実習を行っています。

① 国有林野事業の人的資源を活用した人材育成の協力

各地の森林管理局や森林管理署等では、地域の森林・林業関係者の要請に応じ、国有林野事業に携わる職員の知識を活かして、森林計画制度、造林、森林環境教育などの研修等の講師を派遣しています。

令和2年4月に北海道において、林業の担い手育成のため、「北海道立北の森づくり専門学院」が開校し、道内各地で地域見学実習が行われており、各地の森林管理署からも職員を講師として派遣しています。

根釧^{こんせん}東部森林管理署では、北海道遺産構想推進協議会が選定する「北海道遺産」にもなっている根釧^{こんせん}台地の格子状防風林について紹介し、防風林の役割への理解を促進しました。また、日高北部森林管理署では、日高山脈を始めとした地域の特色や「アイヌ文化の伝承」に必要な広葉樹の育成等の取組を説明しました。これらの取組を通じて、森林・林業・木材産業に関する実践的な知識及び技術を今後活躍が期待される学生に伝えています。

- ・北海道沙流郡(さるぐん)日高町(ひだかちょう)
- ・日高北部森林管理署内
- ・講義の様子



② 国有林野のフィールドを活用した人材育成の協力

国有林野はまとまりのある多様な森林を有しており、公益的機能を重視した管理経営や林産物の安定供給を行っています。このような特性を活かし、関係機関と連携して、多種多様なフィールドの提供を通じて人材育成に取り組んでいます。

高知中部森林管理署では、平成29年度に高知県と四国森林管理局が締結した「林業・木材産業を担う人材育成に向けた高知県及び四国森林管理局の連携・協力に関する協定」に基づき実習のためのフィールドを提供し、林業大学校における人材育成の取組を支援しています。

平成29年度には林業大学校の学生を対象に署職員指導の下、地拵え[※]や苗木の植栽作業、獣害の現状と対策についての現地実習を実施しました。その後も毎年継続的に協定に基づいたフィールドを提供し、令和2年度も林業大学校の学生を対象に下刈りや地拵え、植付等の現地実習を実施しました。



- ・高知県香美市(かみし) 谷相山(たにあいやま)国有林
- ・国有林野における実習の様子
(左) 獣害対策の現地実習 (右) 苗木の植栽の現地実習

今後も、国有林野の研修フィールドとしての提供や職員による技術指導を通じて、地域林業の大きな課題である人材育成を支援し、林業・木材産業及び地域の発展に貢献していくこととしています。